

むろもところ

室本港（観音寺市管理地方港湾）

室本港は西讃地域の中核都市、観音寺市の北部に位置し、燧(ひうち)灘に面する港湾です。

本港は、古くから江浦山のふもとの船泊りとして利用されてきており、江戸時代には丸亀藩の年貢米の積出し港として栄えました。

港湾施設の設備は、明治 37 年および昭和 7 年に拡張工事が行われ、その後、昭和 47 年には埋立工事が行われ、ほぼ現在の姿を整えました。

本港の利用は、貨物船、漁船、プレジャーボートが大半を占め、利用も急増しており、現在これらの需要に対応した港湾の拡張整備が実施されています。

